

所長	G長	課僚

会 議 報 告 書

【報告者 産業部林業振興課 枝窪主人】

起案	令和4年5月26日(木)	部長	次長	課長	補佐	G長	課僚	起案
報告書								
議題 令和4年度サイト座談会		日 時：令和4年5月26日(木) 16:00～17:00 場 所：天竜林業会館2階会議室 参加者：22名(別紙名簿のとおり) 浜松市：小林和重課長、藤江俊允副主幹、渡辺悠登、枝窪						

1 概 要

○ 天竜林材業振興協議会の令和4年第1回総会後に、各サイト関係者と座談会を実施。主な意見等は次の通り。

龍山／人員が不足しており、研修等があっても参加できない事がある。他の地域に遅れを取ってしまうのではないかと心配している。

佐久間／皆伐を進めていかなければと考えているが、造林計画もあり間伐に依存してしまっている。他の地域では造林計画が無いところもあると聞いている。林齢で見ても2～30年生が少なく、林齢の平準化ができていない。

水窪／相続・贈与により、所有者が分からない森林が増えている。森林組合にも山林売却の話に来る方が増えているが、どのように対応しているのか。

2 内 容 (主な意見)

龍山) 人員が不足しており、研修等があっても参加できない事がある。他の地域に遅れを取ってしまうのではないかと心配している。

市) 人材育成は深刻な問題。専門職大学との連携も活用していただきたいが、インターンシップが2カ月掛かる場合もあり、受け入れ側の負担が大きいところがネックになっている。

引佐) 大阪万博での木材活用については何か情報はあるのか。

市) 万博の大きな円のモニュメントなどに木材を活用すると伺っている。一部に天竜材を使用していただけようPRしていきたい。

佐久間) 皆伐を進めていかなければと考えているが、造林計画もあり間伐に依存してしまっている。他の地域では造林計画が無いところもあると聞いている。林齢で見ても2～30年生が少なく、林齢の平準化ができていない。

裏面へ→

市) 今後、調査していく予定。ただ天然更新で再造林していない山では FSC 認証との整合性が取れない。CO2 吸収量の観点から見ても再造林は必要になる。

龍山) 森林整備計画の標準伐期の見直しも検討していただきたい。もう少し若い木についても皆伐していきたい。

国) 担当者が変わったが引き続き FSC に参加していきたい。民国連携により、林業研究センターと協定を結んでおり、研修会や技術支援等行っていくので是非ご活用いただきたい。

春野) 新設予定の図書館にも多くの木材を活用すると聞いている。FSC 認証材の PR など進めていただきたい。

市) 静岡理科大学との打合せを行っており、木材利用の意識は高いと感じているところ。モノづくりワークショップのような機能も入れたいようで、プロジェクト認証も含めて天竜材活用を PR していく。

天竜) 相続・贈与により、所有者が分からない森林が増えている。森林組合にも山林売却の話が増えているが、どのように対応しているのか。

引佐) 土地台帳等の情報を活用して、独自に森林台帳をアップデートしている。市の補助等でアップデートしていただけるのが理想。

市) 他の市町で林地台帳をアップデートしている事例はあるのか。

県) 特に情報はない

3 備 考

FSC 認証材を増やしていくことも重要だが、FSC 認証材が活用される機会を増やしていくことが重要と思料。県立図書館や大阪万博等の多くの建物に FSC 認証材が活用されるだけでなく、活用されている木材が FSC 認証材であると注目されるような広報が求められる。人員不足等、林業の課題は多いが当協議会での取り組みが解決の一助になれるよう活動を続けていく。

令和4年度サイト座談会の様子

日 時：令和4年5月26日（木）16:00～17:00

場 所：天竜林業会館2階会議室

